

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5654605号
(P5654605)

(45) 発行日 平成27年1月14日(2015. 1. 14)

(24) 登録日 平成26年11月28日(2014. 11. 28)

(51) Int.Cl.

F I

G O 6 F 13/00 (2006.01)

G O 6 F 13/00 5 4 O R

G O 6 F 12/00 (2006.01)

G O 6 F 12/00 5 4 6 B

請求項の数 17 (全 26 頁)

(21) 出願番号 特願2012-533197 (P2012-533197)
 (86) (22) 出願日 平成22年9月21日 (2010. 9. 21)
 (65) 公表番号 特表2013-506934 (P2013-506934A)
 (43) 公表日 平成25年2月28日 (2013. 2. 28)
 (86) 国際出願番号 PCT/US2010/049704
 (87) 国際公開番号 W02011/043920
 (87) 国際公開日 平成23年4月14日 (2011. 4. 14)
 審査請求日 平成24年6月4日 (2012. 6. 4)
 (31) 優先権主張番号 12/574, 069
 (32) 優先日 平成21年10月6日 (2009. 10. 6)
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(73) 特許権者 510323598
 ブライトエッジ テクノロジーズ インク
 .
 BrightEdge Technologies, Inc.
 アメリカ合衆国、94404 カリフォル
 ニア州、サン マテオ、スイート100、
 ゲートウェイ ドライブ 1820
 (74) 代理人 100111372
 弁理士 津野 孝
 (74) 代理人 100112298
 弁理士 小田 光春
 (74) 代理人 100168538
 弁理士 加藤 来

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 入口ウェブページへの外部参照と変換とを関連付けてオーガニックマーケティングキャンペーンの効果に関する情報を提供する方法、オーガニックマーケティングキャンペーンの価値を推定す

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つまたは複数の入口ウェブページへの外部参照と該入口ウェブページの閲覧の結果として実行される 1 つまたは複数の変換とを関連付けてオーガニックマーケティングキャンペーンの効果に関する情報を提供する方法であって、

複数の入口ウェブページを特定するステップと、

コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの複数の閲覧者を特定するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの閲覧の結果としてそれぞれの前記閲覧者によって個別に実行される複数の変換を特定するステップと、

前記コンピューティング装置により、独立したシステムによって生成された前記変換と前記閲覧とに関する情報を解析するステップと、

前記コンピューティング装置により、各前記入口ウェブページの閲覧ごとに、該閲覧に関連するいずれかの前記閲覧者を該入口ウェブページに向かわせた検索エンジンから渡されたオーガニック照会を特定するステップであって、該入口ウェブページに関連する照会ヘッダの解析を含むステップと、

前記コンピューティング装置により、1 つまたは複数のキーワードを使用して、前記オーガニック照会を渡した検索エンジンにオーガニック検索結果を要求するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記検索エンジンから前記オーガニック検索結果を受信するステップと、

10

20

前記コンピューティング装置により、前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの前記ランク順位と、前記変換と、前記キーワードとの間の相互関係を判断するステップとを含む方法。

【請求項 2】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブページでの購買を含む請求項 1 の方法。

【請求項 3】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブサイト上のリンクの追跡、ウェブサイト上のコンテンツの選択、またはウェブサイトに表示された連絡先情報を使用した第三者への連絡を含む請求項 1 の方法。

10

【請求項 4】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブサイトへのコンテンツの投稿、またはウェブサイト上のフォームを使用した情報の送信を含む請求項 1 の方法。

【請求項 5】

前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断する前記ステップが、

少なくとも 1 つの前記入口ウェブページが前記オーガニック検索結果に含まれていることを判断するステップと、

前記少なくとも 1 つの前記入口ウェブページの前記オーガニック検索結果における位置を判断するステップと

20

を含む請求項 1 の方法。

【請求項 6】

前記変換の総金銭的価値、平均金銭的価値、または変換ごとの金銭的価値を含む前記変換の金銭的価値を判断するステップをさらに含む請求項 1 の方法。

【請求項 7】

1 つまたは複数の入口ウェブページへの外部参照と該入口ウェブページの閲覧の結果として実行される 1 つまたは複数の変換とを関連付けてオーガニックマーケティングキャンペーンの効果に関する情報を提供する方法であって、

複数の入口ウェブページを特定するステップと、

30

コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの複数の閲覧者を特定するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの閲覧の結果として該入口ウェブページから始まる 1 つの閲覧の文脈内で実行される複数の変換を特定するステップと、

前記コンピューティング装置により、独立したシステムによって生成された前記変換と前記閲覧とに関する情報を解析するステップと、

前記コンピューティング装置により、各前記入口ウェブページの閲覧ごとに、該入口ウェブページの閲覧を発生させた検索エンジンから渡されたオーガニック照会を特定するステップであって、該入口ウェブページに関連する照会ヘッダの解析を含むステップと、

40

前記コンピューティング装置により、1 つまたは複数のキーワードを使用して、前記オーガニック照会を渡した検索エンジンにオーガニック検索結果を要求するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記検索エンジンから前記オーガニック検索結果を受信するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの検索エンジンによるランキングと、前記変換と、前記キーワードとの間の相互関係を判断するステップとを含む方法。

【請求項 8】

50

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブページでの購買を含む請求項 7 の方法。

【請求項 9】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブサイト上のリンクの追跡、ウェブサイト上のコンテンツの選択、またはウェブサイトに表示された連絡先情報を使用した第三者への連絡を含む請求項 7 の方法。

【請求項 10】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブサイトへのコンテンツの投稿、またはウェブサイト上のフォームを使用した情報の送信を含む請求項 7 の方法。

【請求項 11】

前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断する前記ステップが、

少なくとも 1 つの前記入口ウェブページが前記オーガニック検索結果に含まれていることを判断するステップと、

前記少なくとも 1 つの前記入口ウェブページの前記オーガニック検索結果における位置を判断するステップと

を含む請求項 7 の方法。

【請求項 12】

前記変換の総金銭的価値、平均金銭的価値、または変換ごとの金銭的価値を含む前記変換の金銭的価値を判断するステップをさらに含む請求項 7 の方法。

【請求項 13】

オーガニックマーケティングキャンペーンの価値を推定する方法であって、

ウェブサイトに関連する 1 つまたは複数の入口ウェブページの識別子を受信するステップと、

前記入口ウェブページに関連する 1 つまたは複数のキーワードを受信するステップと、
コンピューティング装置により、少なくとも 1 つの前記入口ウェブページの閲覧を示す照会情報を含む変換データを受信するステップであって、前記閲覧が該閲覧を発生させた検索エンジンからのオーガニック照会で構成され、各オーガニック照会が入口ウェブページの閲覧に関連する照会ヘッダに基づいて特定されたステップと、

前記コンピューティング装置により、独立したシステムによって生成された前記変換と前記閲覧とに関する情報を解析するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記キーワードを使用して、少なくとも 1 つの前記オーガニック照会を生成した検索エンジンにオーガニック検索結果を要求するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記検索エンジンから前記オーガニック検索結果を受信するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断するステップと、

前記コンピューティング装置により、前記入口ウェブページの前記ランク順位と、前記変換データと、前記キーワードとの間の相互関係を判断するステップとを含む方法。

【請求項 14】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブページでの購買、ウェブサイトへのコンテンツの投稿、またはウェブサイト上のフォームを使用した情報の送信を含む請求項 13 の方法。

【請求項 15】

入口ウェブページの閲覧の結果として実行される変換が、ウェブサイト上のリンクの追跡、ウェブサイト上のコンテンツの選択、またはウェブサイトに表示された連絡先情報を使用した第三者への連絡を含む請求項 13 の方法。

【請求項 16】

前記オーガニック検索結果を解析して前記入口ウェブページのランク順位を判断する前

10

20

30

40

50

記ステップが、

少なくとも1つの前記入口ウェブページが前記オーガニック検索結果に含まれていることを判断するステップと、

前記少なくとも1つの前記入口ウェブページの前記オーガニック検索結果における位置を判断するステップと

を含む請求項13の方法。

【請求項17】

前記変換の総金銭的価値、平均金銭的価値、または変換ごとの金銭的価値を含む前記変換の金銭的価値を判断するステップをさらに含む請求項13の方法。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

【背景技術】

【0002】

インターネットは、人々が情報を収集し、相互に関係を確立する方法を変え、人々がどのようにして相互に意思疎通を図るかさえも変えた。

加えて、インターネットは、企業が潜在的顧客を求めるやり方も変え、ビジネスの意味が何であるかさえも変えた。

20

インターネットは、企業が宣伝し、販売し、相互に協力し、相互に競争するやり方を変えた。

この変化と共に、人々が閲覧するためのウェブページの数が増発的に増加した。

グーグル(Google)、ビング(Bing)、ヤフー(Yahoo)などといった検索エンジンが出現し、人々が自分の望むウェブページを探し出すのに役立つようになった。

その結果、マーケティング担当者(marketer)が活用することのできるチャネルの数と種類も、オーガニック検索と有料検索とを超えて爆発的に増加し、ブログ、ソーシャルメディア、ビデオ共有、モバイルのコンテンツ、および、広告、ディスプレイ広告、その他の多くのチャネルも活用できるようになっている。

30

【0003】

しかし、多くのウェブページには、閲覧者がどのようにして当該ウェブページを探し出すに至ったか、および、閲覧者を当該ウェブページに来訪させた参照に関する詳細を追跡するための良い方法がない。

実際、多くのウェブページは、何人の人がウェブページを閲覧したかを正確に判定することができず、それどころか、閲覧者数を推定することを余儀なくされている。

従来、これは、トラッキングピクセル、または、他の何らかの類似の機構を用いてなされる。

トラッキングピクセルは、ウェブページ上で単一画素を作り出すためのコードを構成する。

40

しかし、トラッキングピクセルは、あるアクションを実行し、または、トラッキングサーバにある項目を要求するためのコードも含む。

トラッキングサーバは、それが何件のアクション、または、要求を受信するかを常時把握し、それは、ウェブページを閲覧した閲覧者数を推定するのに使用される。

【0004】

とはいえ、この推定は多くの場合、誤りに導く可能性があり、売買当事者(marketer)、および、外部チャネルからのウェブページの実績に関する情報をほとんど、あるいは全く提供しない。

特に、この推定は、トラッキングピクセルを正しく実行するのにユーザのウェブブラウ

50

ザを利用し、アクション、または、要求の件数を正しく追跡するのにトラッキングサーバを利用する。

しかし、トラッキングピクセルは、閲覧者がどのようにして当該ウェブサイトに来訪したかに関して、照会ヘッダからのごく限られたデータしか見ない。

閲覧者がそこから来訪したページを直接クロールし、解析するのでなければ、閲覧者がどのようにしてウェブページに到達したか、それらの外部チャネルにおける当社の実績がどうであったか、マーケティング担当者が企業のオンライン・マーケティング・キャンペーンをどのように最適化すべきかについて、不正確な、および、非常に不正確な考察が生じる。

【0005】

10

しかし、ウェブページの閲覧者数、および、ウェブページに来訪後に閲覧者が行ったアクションは、ウェブページの成功に重大な影響を及ぼし得る。

例えば、多くのウェブページは、ウェブページを持続させるための広告収入をもたらす、または、ウェブページが生む収入を補うために閲覧者数の追跡を利用する。

したがって、閲覧者の数と挙動、閲覧者がどのようにして当該ウェブページに到達したかを正確に判定し、これとマーケティングキャンペーン、および、マーケティング活動と関連付ければ、マーケティング担当者は、さらに多くの収入をもたらすようにキャンペーンに集中し、最適化することが可能になる。

【0006】

加えて、各閲覧者のアクションの挙動を追跡すれば、ウェブページをより効率よく売り込むことが可能になるはずである。

20

特に、多くのウェブページは、検索エンジンにおけるそのオーガニック検索の実績をあるキーワードについての閲覧数に基づいて追跡する。

しかし、ウェブページでは、当該ウェブページに対する特定の検索エンジンの結果、および、ランク順位の結果として何人の閲覧者が来訪したかを判定することはできず、むしろ、特定のキーワードから来訪した閲覧者の数を判定するのに役立つにすぎない当該ウェブページに渡されるデータ（照会ヘッダ）に基づいてこれを推定しなければならない。

検索エンジン上でのウェブページの実績のキーとなる属性を理解することなく、マーケティング活動の有効性を正確に判定することはできない。

さらに、ウェブページでは、そのオーガニック検索マーケティング活動が、閲覧者が当該ウェブページを発見したときに当該ウェブページ上で何を行うかに対してどのように影響を及ぼすはずであるかを判定することもできない。

30

例えば、あるウェブページが商品を販売している場合、目下のところ、誰が当該ウェブページ上で特定の購買を完了したかを判定し、それを当該閲覧者がどのようにして当該ウェブページに来訪したかと比較するための方法がない。

【0007】

したがって、ウェブページの所有者、および、設計者は、閲覧者がどのようにしてウェブページに来訪したか、および、閲覧者がウェブページに来訪した後で何をするかを推定しなければならない。

この推定から、ウェブページの所有者、および、設計者が、どのアクションがウェブページの成功にとってより良い機会を提供するはずであるかを判定することはできない。

40

例えば、ウェブページ所有者が、その検索エンジン結果におけるランク付けを改善することと、別のウェブページに当該ウェブページについての広告を掲載することとのどちらかは可能であるが、両方は不可能な限られたマーケティング予算に直面している場合もある。

現在、ウェブページ所有者は、どちらがより有効であるかに関して限られた情報しかない状態で、どの戦略に従うべきか選択しなければならない。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

50

本出願において特許請求される主題は、いずれかの不利益を解決し、または、前述のような環境においてのみ動作する実施例だけに限定されるものではない。

本背景は、本明細書で示すいくつかの実施例が実施され得る一つの例示的技術領域を示すために提供するにすぎない。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本概要は、以下の詳細な説明においてさらに説明する選択される概念を簡略化された形で紹介するためのものである。

本概要は、特許請求される主題の重要な特徴、または、本質的特性を特定するためのものではなく、特許請求される主題の範囲を決定する際の補助とするためのものでもない。

【0010】

一実施例は、ウェブページへの外部参照を当該ウェブページの1人、または、複数の閲覧者により行われた変換と関連付けるための方法を含む。

方法は、モニタすべきウェブページを受信するステップと、関連付けるべき1つ、または、複数の変換を決定するステップとを含む。

関連付けるべき1つ、または、複数の変換は、ウェブページの閲覧者によりウェブページ上で行われた1つ、または、複数のアクションを含む。

また、方法は、ウェブページの閲覧者を識別するステップも含む。

ウェブページの閲覧者は、関連付けるべき変換に含まれる少なくとも1つのアクションを完了した閲覧者である。

また、方法は、閲覧者により完了された少なくとも1つのアクションを特定するステップと、閲覧者をウェブページへ向かわせた外部参照を特定するステップも含む。

外部参照は、当該ウェブページへの参照を含む。

【0011】

別の実施例は、ウェブページへの外部参照を当該ウェブページ上の変換数、および、値と関連付けるための方法を含む。

方法は、モニタすべきウェブページを受信するステップと、ウェブページ上での変換を特定するステップとを含む。

変換は、ウェブページの閲覧者によりウェブページ上で行われた1つ、または、複数のアクションを含む。

また、方法は、当該ウェブページ上で変換を完了した当該ウェブページの閲覧者を識別するステップも含む。

方法は、さらに、閲覧者をウェブページへ向かわせた、当該ウェブページへの参照を含む外部参照を特定するステップを含む。

【0012】

さらに別の実施例は、ウェブページへの外部参照をウェブページ上での変換数と関連付けるためのシステムを含む。

システムは、情報データベースを含む。

情報データベースは、ウェブページ上での1つ、または、複数の変換、ウェブページの1人、または、複数の閲覧者、および、1つ、または、複数の外部参照を識別するデータを含む。

1つ、または、複数の外部参照は、ウェブページの1人、または、複数の閲覧者によって使用された当該ウェブページへの参照を含む。

また、システムは、ジョブコーディネータも含む。

ジョブコーディネータは、1つ、または、複数の変換を関連付けるために1つ、または、複数のグループに分割するように構成されている。

システムはさらに、クラウドウェアハウスを含む。

クラウドウェアハウスは、1つ、または、複数の変換を1人、または、複数の閲覧者、および、1つ、または、複数の外部参照と関連付けるのに必要とされる1つ、または、複数の計算リソースを含む1つ、または、複数のノードを含む。

また、ジョブコーディネータは、１つ、または、複数のグループのそれぞれを関連付けるためにクラウドウェアハウス内の１つ、または、複数のノードのうちの１つに割り当てられるようにも構成されている。

【 0 0 1 3 】

本発明の上記その他の目的、および、特徴は、以下の説明、および、添付の特許請求の範囲を読めばより十分に明らかになり、または、以下に示す本発明を実施することにより知ることでもある。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 4 】

【図 1】ウェブページへの外部参照をウェブページ上での変換数と関連付けるためのシステムを示すブロック図である。

10

【図 2】ウェブページ上での閲覧者による変換を外部参照と関連付ける方法を示す流れ図である。

【図 3】外部参照のウェブページに対する変換率を求めるための方法を示す図である。

【図 4】クラウドウェアハウスを使用した、ウェブページ上での変換を外部参照と関連付けるためのシステムを示す図である。

【図 5 A】ウェブマスタに関連付け結果を提示するためのグラフの一例を示す図である。

【図 5 B】ウェブマスタに関連付け結果を提示するためのグラフの別の例を示す図である。

。

【図 6 A】ウェブマスタに関連付け結果を提示するための表示の一例を示す図である。

20

【図 6 B】ウェブマスタに関連付け結果を提示するための表示の別の例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 5 】

本発明のいくつかの実施例の様々な態様をさらに明確にするために、本発明のより詳細な説明を添付の図面に例示されている本発明の具体的実施例を参照して行う。

これらの図面は、本発明の実施例を描いたものにすぎず、したがって、本発明の範囲を限定するものとみなすべきではないことが理解される。

添付の図面を使用して本発明をさらに具体的かつ詳細に記述し、説明する。

次に図を参照する。図において、類似の構造は類似の参照符号で示す。

各図は、本発明のいくつかの実施例の図式的概略的表現であり、本発明の限定ではなく、必ずしも縮尺通りに描かれているとも限らないことが理解される。

30

【 0 0 1 6 】

図 1 に、いくつかの実施例による、ウェブページへの外部参照をウェブページ上での変換数と関連付けるためのシステム 100 のブロック図を示す。

「ウェブページ」とは、本明細書で使用する場合、特に指定しない限り、ドメイン、サブドメイン、ウェブポスト、ユニフォームリソース識別子（「URI」）、ユニフォーム・リソース・ロケータ（「URL」）、画像、ビデオ、その他のコンテンツ、および、電子メールやチャットなどの非永続的投稿を含む、任意のオンライン投稿を指すものであることに留意されたい。

【 0 0 1 7 】

40

少なくとも１つの実施態様において、ウェブページへの外部参照をウェブページ上での変換数と関連付けることは、ウェブマスタが各外部参照によって提供される変換数を判定することを可能にし得る。

これは、さらには、ウェブマスタが、ウェブページ上での変換数の増加を最適に導くことになる参照の数、または、品質の増大に集中することを可能にし得る。

例えば、ウェブページへの参照を含む検索エンジンにおけるキーワード検索、および、検索結果内のウェブページのランク付けを関連付けることは、ウェブマスタが、より多数の変換をもたらす可能性がより高い識別キーワードについての検索における当該ウェブページのランク付けを改善することに集中することを可能にし得る。

【 0 0 1 8 】

50

少なくとも1つの実施態様において、変換は、ウェブページの閲覧者がウェブページ上で所望のアクションを完了することを含む。

特に、所望のアクションの性質は、当該ウェブページの任意の所望の使用を含み得る。

ウェブページは、様々な目的のために作成され、維持され得る。

例えば、ウェブページは、コンテンツ駆動型とすることができる。

すなわち、ウェブページは、あるコンテンツへのアクセスを提供するように設計することができる。

例えば、ウェブページは、ニュース、情報、調査補助、または、閲覧者が使用するための他の任意のコンテンツを提供するように設計することができる。

加えて、または、代替として、ウェブページは、電子商取引のために設計することもできる。

10

すなわち、ウェブページは、閲覧者が、メーカ、または、他の事業主体によって製造され、かつ/または、販売される製品など、ある製品を購入することを可能にするように設計され得る。

代替として、または、これに加えて、ウェブページは、取引のためにきっかけを作り出すように設計することもできる。

例えば、ウェブページは、製品の潜在的顧客がメーカに連絡を取ることができるように、ある部品のメーカ、および、連絡先情報に関する情報を含むこともできる。

ウェブページは、これらの用途のうちの1つ、または、複数、あるいはウェブマスタによって求められる他の任意の用途を含むように設計することができることを当業者は理解するであろう。

20

【0019】

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページへの外部参照は、閲覧者を当該ウェブページへ向かわせる当該ウェブページへの任意の参照を含むことができる。

例えば、外部参照は、ブログ、ニュース項目、顧客レビュー、電子メール、ウェブページを論じる他の任意のテキスト文書といったテキスト文書を含むことができる。

加えて、または、代替として、外部参照は、当該ウェブページへのリンクを含むウェブページを含むこともできる。

例えば、外部参照は、他のウェブページ、検索エンジン結果ページ、広告などを含むことができる。

30

【0020】

少なくとも1つの実施態様において、コンテンツ駆動型ウェブページでは、変換の完了は、閲覧者がウェブページをロードすることを含み得る。

特に、ウェブマスタは、閲覧者数に関心を持つ可能性がある。

例えば、閲覧者数は、後述するように、ウェブページによって生み出される広告収入の金額を決定し得る。

したがって、外部参照をコンテンツ駆動型ウェブページにおける変換数と関連付けることは、外部参照によって当該ウェブページへ駆動される当該ウェブページへのトラフィックの量を求めることを含むことができる。

【0021】

40

加えて、または、代替として、ウェブページが電子商取引のために設計されている場合、変換は、外部参照によって作り出される商取引の量を含むこともできる。

例えば、変換は、閲覧者がウェブページから品目を購買することを含むことができる。

加えて、または、代替として、変換は、ウェブページ上で顧客によって費やされた金額を含むこともできる。

したがって、外部参照を電子商取引サイトにおける変換数と関連付けることは、外部参照によって当該ウェブページへ向けられ、かつ/または、当該ウェブページから品目を購買する閲覧者数を求めることを含むことができる。

加えて、または、代替として、外部参照を電子商取引サイトにおける変換数と関連付けることは、外部参照によってウェブページへ向けられる閲覧者によって費やされる平均金

50

額を求めることを含むこともできる。

【 0 0 2 2 】

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページが取引のきっかけを作り出すように設計されている場合、変換は、ウェブマスタ、または、当該ウェブページと関連付けられた他の事業主体に連絡を取る閲覧者数を含むことができる。

例えば、ウェブページは、ユーザが特定の製品に関する追加情報を要求することを可能にするフォームを含むことができる。

したがって、外部参照をきっかけ作りのウェブページにおける変換数と関連付けることは、追加情報を求めるフォームに記入する、外部参照によって向けられた閲覧者、および/または、きっかけとなるサインアップの数を求めることを含むことができる。

10

【 0 0 2 3 】

図1には、システム100がネットワーク105を含み得ることが示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ネットワーク105は、システム100の様々な部分を相互に接続するのに使用することができる。

ネットワーク105は、例えば、複数の広域ネットワーク間、および/または、ローカル・エリア・ネットワーク間の論理的接続、および、物理的接続によって形成される大域的相互接続ネットワークを含むインターネットを含み、任意選択で、インターネットを介してアクセスされる相互リンクされたハイパーテキスト文書のシステムを含むワールド・ワイド・ウェブ(「ウェブ」)も含むことができる。

代替として、または、これに加えて、ネットワーク105は、1つ、または、複数のセルラRFネットワーク、ならびに/あるいは、1つ、または、複数の有線ネットワーク、および/もしくは、それだけに限らないが、802.xxネットワーク、ブルートゥース・アクセス・ポイント、無線アクセスポイント、IPベースのネットワークなどといった無線ネットワークを含む。

20

また、ネットワーク105は、ある種類のネットワークが別の種類のネットワークとインターフェースすることを可能にするサーバを含むこともできる。

【 0 0 2 4 】

また、図1には、システム100がウェブサーバ110を含み得ることも示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブサーバ110(または、「web server」)は、ウェブページを記憶し、ユーザに送信することができる任意のシステムを含むことができる。

30

例えば、ウェブサーバ110は、クライアント(ウェブブラウザなどのユーザエージェント)からの要求を受諾し、クライアントに任意選択のデータコンテンツと共にHTTP応答を供与する役割を果たすコンピュータプログラムを含むことができ、任意選択のデータコンテンツは、ユーザに表示するためのHTML文書、および、リンクオブジェクトを含むことができる。

加えて、または、代替として、ウェブサーバ110は、前述のようなコンピュータプログラムを実施することができるコンピューティング環境を含むこともできる。

【 0 0 2 5 】

40

少なくとも1つの実施態様において、ウェブサーバ110は、要求が失敗した場合に、エンドユーザに問題をより適切に説明するための何らかのカスタムHTMLメッセージ、または、テキストメッセージを含み得るエラー応答を送信することができるものとすることができる。

加えて、または、代替として、ウェブサーバ110は、クライアント要求、および、サーバ応答に関する何らかの詳細情報をログファイルに記録することができる機能を含むこともできる。

少なくとも1つの実施態様において、このログ情報は、後述するように、ウェブマスタによって解析され得る。

【 0 0 2 6 】

50

図 1 には、さらに、システムが閲覧者インターフェース 115 を含むことが示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、閲覧者インターフェース 115 は、ラップトップコンピュータ、デスクトップコンピュータ、スマートフォン、携帯情報端末などといったクライアント機器上で実施されるウェブブラウザを含む。

特に、ウェブブラウザは、ネットワーク上のウェブページを取得し、提示し、行き来するためのソフトウェアアプリケーションである。

例えば、ウェブページは、閲覧者が各自のブラウザをナビゲートして関連したリソースまでたどり着くことを可能にし得るハイパーリンク（または、「リンク」）を含むことができる。

10

【0027】

少なくとも 1 つの実施態様において、閲覧者インターフェース 115 は、閲覧者にウェブページを提示するのに使用することができる。

例えば、閲覧者は、閲覧者インターフェース 115 に、閲覧者インターフェース 115 がロードするためのウェブページの名前を入力することができる。

特に、ウェブページの名前は、プレフィックスを含むことができる。

少なくとも 1 つの実施態様において、ウェブページのプレフィックスは、当該ウェブページが閲覧者インターフェース 115 によりどのように解釈されるか決定することができる。

例えば、プレフィックスは、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) 上で取得されるべきウェブページを識別する「http:」を含むことができる。

20

【0028】

加えて、または、代替として、プレフィックスは、HTTPS のための「https:」、ファイル転送プロトコルのための「ftp:」、ローカルファイルのための「file:」、および、ハイパーテキスト・マークアップ言語のための「html:」を含むこともできる。

加えて、または、代替として、ウェブブラウザが直接扱うことのできないプレフィックスを完全に別のアプリケーションに渡すこともできる。

例えば、「mailto:」ウェブページは、閲覧者のデフォルトの電子メールアプリケーションに渡すことができ、「news:」ウェブページは、閲覧者のデフォルトのニュースグループ・リーダーに渡すことができる。

30

【0029】

少なくとも 1 つの実施態様においては、http、https、file その他の場合には、リソースが取得された後で、閲覧者インターフェース 115 はそれを表示することができる。

加えて、または、代替として、html は、マークアップから対話型文書に変換されるように閲覧者インターフェース 115 のレイアウトエンジンに渡すこともできる。

特に、html は、ウェブブラウザのような html プロセッサの挙動に影響を及ぼす (JavaScript (登録商標) といった言語で書かれた) スクリプトを含むことができ、または、ロードすることができる。

40

加えて、または、代替として、閲覧者インターフェース 115 は、一般に、ウェブページの一部とすることのできる任意の種類のコンテンツを表示することができる。

大部分の閲覧者インターフェース 115 は、画像、オーディオ、ビデオ、および、XML ファイルを表示することができ、多くの場合、Flash アプリケーション、および、Java (登録商標) アプレットをサポートするためのプラグインを有する。

サポートされていない種類のファイル、または、表示されるのではなくダウンロードされるようにセットアップされているファイルに遭遇すると、閲覧者インターフェース 115 は、ユーザに、ファイルをディスクに保存するよう促すことができる。

【0030】

また、図 1 には、システム 100 がコリレータ 120 を含むことも示されている。

50

少なくとも1つの実施態様において、コリレータ120は、特定の外部参照に起因するものであるウェブサイト上での変換数を求めることができる。

例えば、コリレータ120は、特定の外部参照からウェブページに来訪する閲覧者のうちの何パーセントが当該ウェブページでの変換を完了するか求めることができる。

加えて、または、代替として、コリレータ120は、ウェブページ上での総変換数のうちの何パーセントが特定の外部参照からのものであるか求めることもできる。

【0031】

図2は、いくつかの実施例による、ウェブページ上での閲覧者による変換を外部参照と関連付ける方法200を示す流れ図である。

ウェブページ上での閲覧者による変換を外部参照と関連付けることは、ウェブマスタが、どの外部参照が最もよく変換を生じさせるかを判定することを可能にし得る。

例えば、ウェブマスタは、どの検索結果が所望の変換をもたらす可能性が最も高いかを判定することができ、したがって、後述するように、マーケティング活動をそれらの検索結果の改善に集中させることができる。

【0032】

方法200は、ソフトウェア、ハードウェア、または、これらの組み合わせを使用して実施することができる。

方法200がソフトウェアを使用して実施される場合、方法200の各ステップは、それらの機能を果たすために必要に応じてアクセスされるように、コンピュータ可読媒体に記憶することができる。

加えて、方法200がソフトウェアを使用して実施される場合、各ステップは、プロセッサ、フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ(FPGA)、または、ソフトウェア命令、もしくは、他の論理関数を実行することができる他の任意の論理デバイスによって実行することができる。

【0033】

少なくとも1つの実施態様において、方法200は、クラウドウェアハウスを使用して実施することができる。

特に、クラウドウェアハウスは、ネットワーク上で処理能力を購入することを含む。

特に、ユーザは、ソフトウェアプラットフォームに対してホストとして働く物理インフラストラクチャを所有している必要がない。

代わりに、ユーザは、第三者提供者から利用権を賃借する。

ユーザは、特定の提供者から賃借する必要はない。

代わりに、ユーザは、「利用可能時点ベース」で賃借することができる。

すなわち、ユーザは、第三者提供者に自動的に連絡を取り、必要に応じてリソースを取得することができる。

したがって、いくつかの計算を並列に行うことができるため、それらの計算を同時に行うことができる。

加えて、ユーザが物理インフラストラクチャを購入する必要がないため、計算をより安価なものとすることができる。

【0034】

特に、方法200がクラウドウェアハウスにおいて実施される場合、変換は、まず、グループに分割され得る。

例えば、方法200は、ある一定の時間間隔で実行することができ、当該時間間隔内のすべての変換が一度に関連付けられる。

例えば、方法200は、一日に一回実行し、当日の間に完了されるすべての変換を相互に解析することができる。

少なくとも1つの実施態様において、各グループは、クラウドウェアハウス内の異なるノードに割り当てることができる。

したがって、各グループは、並列に解析することができる。

【0035】

加えて、または、代替として、方法 200 は、サーバ、または、他の単一コンピューティング環境を使用して実施することもできる。

サーバ、または、他の単一コンピューティング環境が利用される場合、変換は、グループに分割される必要がない。

すべての変換が同じサーバ、または、単一コンピューティング環境によって解析されることになるからである。

したがって、必要とされ得る全体処理がより少ない。

しかし、サーバ、または、単一コンピューティング環境は、ダウンタイムを生じる可能性もあり、別の理由で結果を遅延させる可能性もある。

【0036】

10

加えて、または、代替として、方法 200 を実施するのに、クラウドウェアハウスとサーバのある組み合わせを利用することもできる。

例えば、サーバを使用して変換をグループ化し、それら进行处理のためにクラウドウェアハウスに送信することもできる。

加えて、または、代替として、必要に応じてサーバを補助するのにクラウドウェアハウスを使用することもできる。

例えば、クラウドウェアハウスは、処理の量がサーバの能力を超えて増大する場合に使用することができる。

【0037】

図 2 には、方法 200 が、モニタすべきウェブページを受信するステップ 205 を含むことが示されている。

20

少なくとも 1 つの実施態様において、モニタすべきウェブページを受信するステップ 205 は、ドメイン名、または、URL を受信するステップを含む。

例えば、ウェブマスタは、URL を提供し、変換がある期間にわたってウェブページ上でもニタされるよう要求することができる。

加えて、または、代替として、モニタすべきウェブページを受信するステップ 205 は、後述するように、変換を追跡することができる 1 つ、または、複数のソフトウェア製品を追加するためのウェブページのコードを提供するステップを含むこともできる。

【0038】

また、図 2 には、方法 200 が、関連付けられるべき変換の種類を決定するステップ 210 を含むことも示されている。

30

少なくとも 1 つの実施態様において、関連付けられるべき変換は、購買、リンクの追従、広告の追従、画像、ビデオ、テキストといったコンテンツの選択、ディスカッションやチャットボードへの参加、ゲームへの参加、ブログ、フィード、状況更新といったコンテンツの投稿、ページのブックマーク、RSS といったコンテンツフィードの追加、または、ウェブマスタが関連付けを望むウェブページ上での他の任意の変換を含むことができる。

【0039】

図 2 には、さらに、方法 200 がウェブページの閲覧者を識別するステップ 215 を含むことが示されている。

40

少なくとも 1 つの実施態様において、ウェブページの閲覧者を識別するステップ 215 は、閲覧者のインターネットプロトコル (IP) アドレスを特定するステップを含む。

特に、IP アドレスは、ネットワークのノード間の通信のために、インターネットプロトコルを利用するコンピュータネットワークに参加している機器に割り当てられる数値ラベルである。

加えて、または、代替として、閲覧者を識別するステップ 215 は、閲覧者のウェブブラウザにクッキーを提供するステップを含むことができる。

特に、クッキー (トラッキングクッキー、ブラウザクッキー、HTTP クッキーともいう) は、ウェブブラウザによってユーザのコンピュータ上に記憶される短いテキストとすることができる。

50

例えば、クッキーは、ユーザの好み、ショッピングカートの中身、サーバベースのセッションのための識別子、または、ウェブサイトによって使用されるその他のデータといった情報のビットを含む1つ、または、複数の名前・値対から構成され得る。

【0040】

加えて、または、代替として、ウェブページの閲覧者を識別するステップ215は、ウェブページコードに閲覧者を識別するスクリプト、または、他のソフトウェアモジュールを提供するステップを含むこともできる。

例えば、閲覧者を識別するステップ215は、ウェブページのコードに、実行されると、ウェブサーバに所望の情報を送り返すことができるJavaScriptを追加するステップを含むことができる。

10

少なくとも1つの実施態様において、コードは、閲覧者のブラウザによって実行され、ウェブページ上にいる間の閲覧者のアクションを追跡することができる。

例えば、コードは、閲覧者、したがって、閲覧者によって使用される外部参照を後での購買と関連付けることができるように、閲覧者による購買アクションの性格と時間を記録することができる。

【0041】

また、図2には、方法200が、閲覧者によって完了された変換を特定するステップ220を含むことも示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページ上での変換は、百万単位の数とすることができる。

20

例えば、人気のあるソーシャルネットワーキングやコンテンツ駆動型ウェブページは、毎日、何百万人もの人々によって閲覧される可能性がある。

したがって、ウェブページ上での変換は、アクションを行った閲覧者と照合される必要がある。

前述のように、変換は、ウェブページに追加され、閲覧者のウェブブラウザによって実行されるコードを使用して、変換を行った閲覧者と照合することができる。

加えて、または、代替として、ウェブページは、アクションを行うユーザのIPアドレスを識別してもよく、このIPアドレスは、後述するように、後で、全閲覧者のリストに照合することができ、閲覧者のすべてのアクションを解析のために相互にグループ化することができる。

30

【0042】

また、図2には、方法200が、閲覧者によって使用されたウェブページへの外部参照を突き止めるステップ225を含むことも示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページへの外部参照は、当該ウェブページにリンクする任意の参照を含むことができる。

特に、リンクは、外部、または、内部の情報への文書内の参照である。

少なくとも1つの実施態様において、外部参照内のある部分のテキスト、または、他の項目は、クリックされると、閲覧者のウェブブラウザが別のページを自動的に表示し、または、現在のページを変更して参照先コンテンツを示すように強調表示される。

【0043】

40

加えて、または、代替として、外部参照を突き止めるステップ225は、ウェブサーバによって提供されるログファイルをパースするステップを含むことができる。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブサーバは、ウェブサーバ上に記憶されたウェブページを要求するときに、ウェブサーバにログファイルを提供することができる。

これらのログファイルは、外部参照のURLを含む、外部参照に関する情報を含むことができる。

加えて、または、代替として、ログファイルは、外部参照が検索エンジンである場合には、検索に関する情報を含むことができる。

【0044】

加えて、または、代替として、外部参照を突き止めるステップ225は、ウェブページ

50

要求の検索ヘッダをパースするステップを含むことができる。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページ要求の検索ヘッダは、閲覧者をウェブページへ向かわせた外部参照に関する情報を含むことができる。

例えば、検索ヘッダは、使用された検索エンジン、および、検索されたキーワードを含むことができる。

【0045】

少なくとも1つの実施態様において、外部参照を突き止めるステップ225は、閲覧者の変換に先立つ閲覧者の活動の完全なファネルを解析するステップを含むことができる。

特に、閲覧者の活動の完全なファネルは、結果として閲覧者が当該ウェブページに訪訪することになる、変換の直前ではない活動を含むことができる。

10

例えば、閲覧者の活動の完全なファネルは、以前のキーワード検索を含むことができる。

例えば、閲覧者がウェブページに訪訪し、変換を完了しないが、後で戻って変換を完了する場合には、閲覧者の活動の完全なファネルは、変換に先立つ閲覧者の外部参照の閲覧を含むことができる。

加えて、または、代替として、閲覧者の活動の完全なファネルは、当該ウェブページまで閲覧者がたどった完全なパスを含むこともできる。

例えば、閲覧者の活動の完全なファネルは、当該ウェブページへ至る関連した製品の比較レビューに至る製品に関するブログに至るキーワード検索を含むこともできるはずである。

20

【0046】

加えて、または、代替として、外部参照を突き止めるステップ225は、外部参照の解析を判定するステップを含むことができる。

少なくとも1つの実施態様において、外部参照の解析は、1つ、または、複数のチャネルを含むことができる。

特に、チャネルは、オーガニック検索、オーガニックリンク、有料リンク、ページ検索、リンク広告ネットワーク、バナー広告、コンテキスト広告、電子メール、ブログ、ソーシャルネットワーク、ソーシャルニュース、アフィリエイトマーケティング、モバイル広告、メディア広告、ビデオ広告、ビデオ、画像、ディスカッションフォーラム、有料広告、ディスプレイ広告、ニュースサイト、リッチメディア、ソーシャルブックマーク、有料検索、wiki、モバイルコンテンツ、ゲーム内広告を含むことができる。

30

とはいえ、チャネルは、前述のものだけに限定されず、現存するにせよ、将来作り出されるにせよ、ネットワークの任意の関連領域を含むことができる。

【0047】

加えて、または、代替として、外部参照の解析は、1つ、または、複数の信号を含むこともできる。

少なくとも1つの実施態様において、1つ、または、複数の信号は、ウェブページへの外部参照に関する情報を含む。

例えば、ウェブページの最上部に配置される広告は、非常に視認性が高く、したがって一般には、ウェブページの最下部に配置される広告より高くつき、より効果的であるとみなされる。

40

したがって、外部参照がオンライン広告を含む場合、広告配置は、評価され得るウェブページの一解析である。

代替として、または、これに加えて、1つ、または、複数の信号は、当該ウェブページを特定した検索において使用されたキーワード、および、検索内のウェブページのランク付けと、競合リスト（検索内でランク付けされている他のページ）を含むこともできる。

加えて、または、代替として、1つ、または、複数の信号は、外部参照の暦日付、外部参照がアクセスされた時刻などのうちの1つ、または、複数を含むこともできる。

【0048】

少なくとも1つの実施態様において、1つ、または、複数の信号は、ウェブページへの

50

外部参照において提供されるリンクに関する情報を含むことができる。

例えば、1つ、または、複数の信号は、リンクのアンカテキストを含むことができる。

アンカテキスト（リンクレベル、または、リンクタイトルともいう）は、ハイパーリンクにおける可視の、クリック可能なテキストである。

加えて、または、代替として、1つ、または、複数の信号は、リンクタグを含むこともできる。

リンクタグは、リンクに関する情報である。

例えば、リンクタグは、「`n o f o l l o w`」タグを含むことができる。

`n o f o l l o w`は、ハイパーリンクが検索エンジンのインデックスにおいてリンクターゲットのランク付けに影響を及ぼさないよういくつかの検索エンジンに命令するのに使用されるHTML属性値である。

【0049】

加えて、または、代替として、評価されるべき電子メールメッセージ内の信号は、受信された電子メールメッセージの頻度、電子メールメッセージ上の送信リンク、受信された電子メールメッセージの暦日付、受信された電子メールメッセージの時刻などを含むこともできる。

ブログにおいて、信号は、メンションの数、および、メンションのセンチメントを含むことができる。

ソーシャル・メディア・チャンネルでは、信号は、参照付きのユーザ生成コンテンツの数、および、それらの参照についての投票数を含むことができる。

ソーシャルネットワークでは、信号は、メンションの数、または、ページに言及しているアプリケーションの数を含むことができる。

とはいえ、評価されるべき信号は、前述のものだけに限定されず、現存するにせよ、将来作り出されるにせよ、ウェブページの参照に関する任意の関連情報を含むことができる。

【0050】

少なくとも1つの実施態様において、外部参照に関する詳細情報は、外部参照をクロールリングすることにより獲得することができる。

例えば、外部参照のクロールリングは、ディープクロールとダイナミッククロールとを含むことができる。

特に、ディープクロールは、エンティティへのオンライン参照を求めてインターネットをクロールリングすることを含む。

インターネットのクロールリングは、ウェブページへの参照を求めてインターネットの1つ、または、複数のチャンネルを検索し、参照内の1つ、または、複数の信号を評価することを含み得る。

【0051】

これに対して、ダイナミッククロールは、ディープクロールにおいて以前に遭遇されていない参照を評価することを含み得る。

例えば、ダイナミッククロールは、参照を評価して、当該参照がどのチャンネルにおいて出現するか、および、当該参照がどんな信号を含むかを判定することを含むことができる。

少なくとも1つの実施態様において、ダイナミッククロールは、ウェブページがあるチャンネルにおいてどのように参照されたかを判定することができる。

例えば、検索結果ページのダイナミッククロールは、当該ウェブページがキーワード検索においてどこにランク付けされたか、キーワード検索にどんな競争者が登場したか、競争者はキーワード検索においてどこにランク付けされたか、検索結果から何人の閲覧者が当該ウェブページに来訪したか、または、ウェブマスタが外部参照内でウェブページを売り込むことの有効性を判定することを可能にし得る他の任意の解析を判定することができる。

加えて、または、代替として、ブログのダイナミッククロールは、外部参照のクロール

10

20

30

40

50

ング、外部参照がブログであることの確認、ブログの主題の判定、ブログのセンチメントの判定、または、ウェブマスタがウェブページ上での変換を生じさせる際のブログの有効性を判定することを可能にし得る他の任意の解析を含むはずである。

【0052】

少なくとも1つの実施態様において、ダイナミッククロールは、迅速に変化する可能性がより高い外部参照に対して使用することができる。

例えば、ツイッターやフェースブックといったソーシャル・ネットワーキング・サイトは、ソーシャルネットワークのユーザが相互に情報を受け渡す際のウェブページのメンション数の急激な増加を含み得る。

したがって、外部参照を絶えずクロールリングすることにより、外部参照におけるメンション数の変化からもたらされる変換数の変化を表示することができる。

10

【0053】

チャンネル、信号、ならびに、オンライン参照の収集、および、採点に関するさらに別の情報が、2009年5月6日に出願された、「COLLECTING AND SCORING ONLINE REFERENCES」という名称の、米国特許出願第12/436,704号明細書に記載されている。

前述の特許出願は、参照によりその全文が本明細書に組み込まれるものである。

【0054】

図2には、さらに、方法200が各変換を照会外部参照と照合するステップ230を含むことが示されている。

20

特に、各変換を照会外部参照と照合するステップ230は、特定の閲覧者を特定の変換と照合し、さらに、当該閲覧者を外部参照と照合するステップを含み得る。

例えば、特定の変換が特定の閲覧者と一致する場合、識別された閲覧者についてログファイルを検索することができる。

次いで、識別されたログファイルをパースして、閲覧者により当該ウェブページを探し出すために使用された外部参照を突き止めることができる。

【0055】

本明細書において開示する上記その他のプロセス、および、方法について、プロセス、および、方法において果たされる機能は、異なる順序で実施されてもよいことを当業者は理解するであろう。

30

さらに、前述のステップ、および、動作は、例として提示するものにすぎず、ステップ、および、動作によっては、開示の実施例の本質を逸脱することなく、任意選択とすることもでき、より少数のステップ、および、動作へと組み合わせられてもよく、さらに別のステップ、および、動作へと拡張されてもよい。

【0056】

図3に、いくつかの実施例による、外部参照のウェブページに対する変換率を求めるための方法300を示す。

方法300は、ソフトウェア、ハードウェア、または、これらの任意の組み合わせを使用して実施することができる。

方法300がソフトウェアを使用して実施される場合、方法300のステップは、その機能を果たすために必要に応じてアクセスされるように、コンピュータ可読媒体に記憶することができる。

40

加えて、方法300がソフトウェアを使用して実施される場合、ステップは、プロセッサ、フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ(FPGA)、クラウドウェアハウス、または、ソフトウェア命令、もしくは、他の論理関数を実行することのできる他の任意の論理デバイスによって実行することができる。

【0057】

図3には、方法300がモニタすべきウェブページを受信するステップ305を含むことが示されている。

少なくとも1つの実施態様において、モニタすべきウェブページを受信するステップ3

50

05は、ドメイン名、または、URLを受信するステップを含む。

例えば、ウェブマスタは、URLを提供し、変換がある期間にわたってウェブページ上でモニタされるよう要求することができる。

加えて、または、代替として、モニタすべきウェブページを受信するステップ305は、後述するように、変換を追跡することのできる1つ、または、複数のソフトウェア製品の追加のためのウェブページのコードを提供するステップを含むこともできる。

【0058】

少なくとも1つの実施態様において、モニタすべきウェブページを受信するステップ305は、ウェブページへの1つ、または、複数の入口ページを受信するステップを含むことができる。

10

例えば、モニタすべきウェブページは、ページの集合を含むことができる。

特に、ウェブページは、入口ページとして機能し、ページの集合内でグループ化された他のページへのリンクを含むメインページ、または、ホームページを含むことができる。

すなわち、入口ページは、閲覧者がウェブページ内の他のページを選択することを可能にする。

少なくとも1つの実施態様において、入口ページは、外部参照の一部、または、全部が指し示すページを含むことができる。

【0059】

図3には、さらに、方法300がウェブページの閲覧者を識別するステップ310を含むことが示されている。

20

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページの閲覧者を識別するステップ310は、閲覧者のインターネットプロトコル(IP)アドレスを突き止めるステップを含む。

加えて、または、代替として、閲覧者を識別するステップ310は、閲覧者のウェブブラウザにクッキーを提供するステップを含むこともできる。

【0060】

加えて、または、代替として、ウェブページの閲覧者を識別するステップ310は、ウェブページコードにおいて閲覧者を識別するスクリプト、または、他のソフトウェアモジュールを提供するステップを含むこともできる。

例えば、閲覧者を識別するステップ310は、ウェブページのコードに、実行されると、ウェブサーバに所望の情報を送り返すことができるJavaScriptを追加するステップを含むことができる。

30

少なくとも1つの実施態様において、コードは、閲覧者のブラウザによって実行され、ウェブページ上にいる間の閲覧者のアクションを追跡することができる。

例えば、コードは、閲覧者、したがって、閲覧者によって使用される外部参照を後でその購買と関連付けることができるように、閲覧者による購買アクションの性格と時間を記録することができる。

【0061】

図3には、さらに、方法300が閲覧者によって使用された外部参照を突き止めるステップ315を含むことが示されている。

少なくとも1つの実施態様において、外部参照を特定するステップは、ユーザが閲覧した、当該ウェブページへの参照を含む前のウェブページを特定するステップを含む。

40

特に、外部参照は、閲覧者をモニタされるウェブページへ向かわせる任意のウェブページを含むことができる。

例えば、外部参照は、キーワード検索の結果に基づく閲覧者を当該ウェブページへ向かわせる検索エンジンを含むことができる。

加えて、または、代替として、外部参照は、閲覧者を当該ウェブページへ向かわせるウェブページ上に配置された広告を含むこともできる。

例えば、広告は、広告配置サービスを介して配置された広告を含むこともでき、明確にあるウェブページ上において契約されている広告を含むこともできる。

加えて、または、代替として、外部参照は、ウェブページへの直接参照を含むこともで

50

きる。

例えば、直接参照は、提携先、もしくは、同業者から、または、評論家、もしくは、他のコンテンツ提供者からの参照を含むことができる。

【0062】

少なくとも1つの実施態様において、外部参照は、外部参照のグループを含むことができる。

例えば、ウェブマスタは、異なる都市名を含む検索に基づく変換数に関心を持つ可能性もある。

例えば、ある企業が多数の都市に位置する場合、ウェブマスタは、どの都市が実際に検索されるかにかかわらず、それらの都市名のうちのいずれかを含むキーワード検索からもたらされる変換数に関心を持つ可能性がある。

したがって、外部参照は、どの都市が実際に検索されるかにかかわらず、相互にグループ化することができる。

【0063】

少なくとも1つの実施態様において、外部参照は、サーバ要求に含まれるログファイルを使用して突き止める315ことができる。

例えば、ログファイルをパースして、当該ウェブページの閲覧者によって以前にアクセスされたウェブページを突き止めることができる。

加えて、または、代替として、外部参照は、検索照会ヘッダから突き止める315こともできる。

例えば、前のウェブページが検索エンジンであった場合、ウェブページを求めるウェブサーバへの要求は、外部参照に関する情報を含む検索ヘッダを含む可能性もあるはずである。

【0064】

図3には、さらに、方法300が、閲覧者がウェブページ上での変換を完了するかどうかを判定するステップ320を含むことが示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ウェブページコードと共に含まれるクッキー、および/または、JavaScriptは、ユーザが変換を完了し、その情報をウェブサーバへ、または、情報を受信するよう指定された宛先へ送信するかどうかを追跡することができる。

加えて、または、代替として、変換が完了する都度、ウェブページコードが閲覧者に関する適切な情報を要求することも可能である。

さらには、前述のように、この情報を識別された閲覧者と照合することもできる。

【0065】

図3には、さらに、方法300が外部参照の変換率を求めるステップ325を含むことが示されている。

前述のように、変換率は、特定の外部参照に起因するウェブサイト上での変換数を含むことができる。

例えば、変換率は、特定の外部参照から当該ウェブページに来訪し、ウェブページ上での変換を完了する閲覧者の割合を含むことができる。

加えて、または、代替として、変換率は、特定の外部参照に由来する当該ウェブページ上での総変換数の割合を含むこともできる。

【0066】

少なくとも1つの実施態様において、外部参照の変換率を求めるステップ325は、単一の入口ページの変換率を求めるステップを含むことができる。

例えば、変換率は、ウェブページ内の単一ページ上での変換数を含むことができる。

加えて、または、代替として、外部参照の変換率を求めるステップ325は、ウェブページ内の全ページの変換率を求めるステップを含むこともできる。

例えば、ウェブマスタは、独自の検索に含まれる人であれ、ウェブページをブラウズすることによって到来した人であれ、任意の種類の変換を完了する人数にしか関心を持たな

10

20

30

40

50

い可能性もある。

【0067】

加えて、または、代替として、外部参照の変換率を求めるステップ325は、外部参照のグループの変換率を求めることを含むこともできる。

特に、ウェブマスタは、ウェブマスタによって選択される基準に基づいて1つ、または、複数の外部参照をグループ化することができる。

例えば、ウェブマスタは、外部参照に存在する他のキーワードにかかわらず、単一のキーワードを含むすべての外部参照を含めることができる。

したがって、ウェブマスタは、柔軟に、外部参照のグループ化を決定し、外部参照のグループの対応する変換率を求めることができる。

10

【0068】

少なくとも1つの実施態様において、方法は、さらに、ウェブマスタに推奨を提供するステップを含むことができる。

特に、ウェブマスタが利用可能なマーケティング技法をより良く利用することを可能にする推奨をウェブマスタに対して行うことができる。

例えば、検索エンジン最適化に関する推奨をウェブマスタに対して行うことができる。

当該ウェブページが、検索数が多く、または、変換率が高いキーワード検索において低くランク付けされている場合には、当該キーワード検索内での当該ウェブページのランク付けを改善することにマーケティング活動を集中するよう求める推奨を行うことができる。

20

ウェブマスタが、現在モニタされていない参照をより積極的にモニタするよう求める別の推奨を行うこともできる。

加えて、または、代替として、マーケティングを改善するために、どのチャネル、または、信号に集中する必要があるかに関する推奨を行うこともできる。

例えば、当該ウェブページへのバックリンクの数、および、ウェブマスタがどのようにしてバックリンクの数を増やすことができるかに関する推奨を行うこともできる。

少なくとも1つの実施態様においては、ウェブページの市場勢力図に関する推奨を行うことができる。

例えば、競争者のウェブページをモニタすることができ、競争者のキーワードランクが変化し、または、競争者のバックリンクの数が増加したときに、ウェブマスタに知らせることができる。

30

加えて、または、代替として、ウェブページの外部参照の変化に関する推奨を行うこともできる。

例えば、当該ウェブページ上での高い変換数につながるキーワードランク付けで変化が発生した場合、ウェブマスタに通知を提供することができる。

【0069】

図4に、いくつかの実施態様による、クラウドウェアハウス405を使用してウェブページ上での変換を外部参照と関連付けるためのシステム400を示す。

少なくとも1つの実施態様において、クラウドウェアハウス405は、ソフトウェアの複数の実施を同時に走らせ、関連付けを行うのに要する時間を短縮することができる。

40

加えて、または、代替として、クラウドウェアハウス405を使用すると、コスト、および、速度結果を低減することもできる。

【0070】

図4には、システム400がジョブコーディネータ410を含み得ることが示されている。

少なくとも1つの実施態様において、ジョブコーディネータ410は、情報データベース412から情報を受信する。

情報データベース412内のデータは、前述のように、ウェブページに埋め込まれたコードから、ログファイルから、検索ヘッダから、または、他の何らかの方法によって受信することができる。

50

特に、情報データベース 4 1 2 は、ウェブページ上の変換を外部参照と関連付けるのに必要とされるデータを含むことができる。

例えば、データは、ウェブページ上での変換を特定することができる。

加えて、または、代替として、データは、ウェブページの閲覧者を識別することもできる。

加えて、または、代替として、データは、閲覧者をウェブページへ向かわせたウェブページへの外部参照も含むことができる。

【 0 0 7 1 】

少なくとも 1 つの実施態様において、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、すべての完了された変換を処理のために異なるグループ 4 1 5 a、4 1 5 b、4 1 5 c（一括して「グループ 4 1 5」という）に割り当てることができる。

10

例えば、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、変換をある数の変換のグループ 4 1 5 へと分割することができる。

加えて、または、代替として、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、パースされるべき情報の量に基づいて変換をグループ 4 1 5 へと分割することもできる。

例えば、多数の変換が関連付けられる必要がある場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、各グループ 4 1 5 内の変換数を低減することができる。

【 0 0 7 2 】

加えて、または、代替として、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、他の基準に基づいて変換をグループ 4 1 5 へと分割することもできる。

20

例えば、複数のウェブページが同時に解析されている場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、解析されているウェブページに基づいて変換をグループ 4 1 5 へと分割することができる。

加えて、または、代替として、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、ウェブマスタによって設定された好みに基づいて変換をグループ 4 1 5 へと分割することもできる。

例えば、ウェブマスタが低コストを選択する場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、処理コストを低減するために変換をより少数のグループ 4 1 5 へと分割することができる。

加えて、または、代替として、ウェブマスタがより高速な戻り時間（return time）を選択する場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、処理時間を低減するために変換をより多数のグループ 4 1 5 へと分割することができる。

30

【 0 0 7 3 】

少なくとも 1 つの実施態様において、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、コンピューティング環境を含むことができる。

特に、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、プロセッサ、FPGA、メモリ、または、その目的の機能を果たすのに必要な他の任意のハードウェア、もしくは、ソフトウェアを含むことができる。

例えば、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、変換をグループ 4 1 5 に割り当て、それらを解析のためにクラウドウェアハウス 4 0 5 に提示するように構成されたサーバを含むことができる。

【 0 0 7 4 】

40

また、図 4 には、ジョブコーディネータ 4 1 0 が、異なる変換グループ 4 1 5 を処理のためにクラウドウェアハウス 4 0 5 内の異なるノード 4 2 0 a、4 2 0 b、4 2 0 c（一括して「ノード 4 2 0」という）に割り当てることができることも示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、ウェブマスタによって設定された好みに基づいて異なるグループ 4 1 5 を異なるノード 4 2 0 に割り当てることができる。

例えば、ウェブマスタがコストを低く保つことを選択する場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、グループ 4 1 5 をより安価なノード 4 2 0 に割り当て、レートがより安価である可能性のある非ピーク時間帯にグループ 4 1 5 をノード 4 2 0 に割り当てることができる。

50

加えて、または、代替として、ウェブマスタがより高速な戻り時間を選択する場合、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、即時に解析されるようにグループ 4 1 5 を利用可能な最高速の（ノード 4 2 0）に割り当てることができる。

【 0 0 7 5 】

図 4 には、さらに、システムがクラウドウェアハウス 4 0 5 を含むことが示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、クラウドウェアハウス 4 0 5 は、1 つ、または、複数のノード 4 2 0 を含む。

特に、1 つ、または、複数のノード 4 2 0 は、ソフトウェア、または、他のコマンドを実行することのできるコンピューティング環境を含む。

1 つ、または、複数のノード 4 2 0 は、ハードウェア所有者以外の者が使用するために、必要に応じて賃貸することができる。

【 0 0 7 6 】

少なくとも 1 つの実施態様において、ノード 4 2 0 の使用は予め設定することができる。

すなわち、前もって、または、予定されたスケジュールに従って、ノード 4 2 0 の使用時間、および、使用法を取り決めることができる。

加えて、または、代替として、ノード 4 2 0 は、「必要に応じて」供与することもできる。

例えば、クラウドウェアハウス 4 0 5 は、利用可能なノードの更新リストを保持することができる。

クラウドウェアハウス 4 0 5 は、その場合、この情報をジョブコーディネータ 4 1 0 に伝えることができ、ジョブコーディネータ 4 1 0 は、次いで、異なるグループ 4 1 5 を利用可能なノード 4 2 0 に割り当てる。

加えて、または、代替として、クラウドウェアハウス 4 0 5 は、グループ 4 1 5 を受信し、ノード 4 2 0 が利用可能になる際に、グループ 4 1 5 を異なるノード 4 2 0 に割り当てることもできる。

【 0 0 7 7 】

図 5 A に、いくつかの実施例による、関連付け結果をウェブマスタに提示するためのグラフの例 5 0 0 を示す。

少なくとも 1 つの実施態様において、グラフ 5 0 0 は、ウェブマスタが特定のマーケティングキャンペーンの有効性を判定することを可能にし得る。

特に、グラフ 5 0 0 は、図 5 A に示すように、棒グラフとすることができる。

例えば、グラフ 5 0 0 には、閲覧数 5 0 5、変換数 5 1 0、および、変換の金銭的価値 5 1 5 がどのように経時的に変化したかを示すことができる。

特に、グラフ 5 0 0 には、特定の外部参照についての関連付け結果を含むことができる。

例えば、グラフ 5 0 0 には、検索エンジンにおける特定のキーワード検索の結果としての閲覧者数 5 0 5、変換数 5 1 0、および、変換の金銭的価値 5 1 5 を含むことができる。

【 0 0 7 8 】

少なくとも 1 つの実施態様において、グラフ 5 0 0 には、変換数 5 1 0、および、閲覧者数 5 0 5 を整数値として示すことができる。

加えて、または、代替として、グラフ 5 0 0 には、変換数 5 1 0 を y 軸 5 2 0 の閲覧者数の割合として示すこともできる。

さらに、グラフ 5 0 0 には、変換 5 1 0 の金銭的価値 5 1 5 を含むことができる。

例えば、グラフ 5 0 0 には、すべての変換 5 1 0 の合計の金銭的価値 5 1 5 を含むことができる。

加えて、または、代替として、グラフ 5 0 0 には、各変換 5 1 0、または、各閲覧 5 0 5 の平均の金銭的価値 5 1 5 を含むこともできる。

したがって、ウェブマスタは、何件の閲覧 5 0 5 が変換 5 1 0 をもたらし、各閲覧 5 0 5、または、変換 5 1 0 がいくらの金銭的価値 5 1 5 をもたらすかを容易に調べることができる。

【 0 0 7 9 】

少なくとも 1 つの実施態様において、グラフ 5 0 0 には、x 軸 5 2 5 として時間範囲を含むことができる。

例えば、x 軸 5 2 5 は、1 ヶ月の時間間隔を示すことができる。

加えて、または、代替として、x 軸 5 2 5 は、時刻、曜日、または、年数を示すこともできる。

少なくとも 1 つの実施態様において、ウェブマスタは、x 軸 5 2 5 上に示される値を望み通りに変更することができる。

したがって、ウェブマスタは、外部参照が変換を生じさせるに際してどれほど有効であったかを容易に評価することができる。

【 0 0 8 0 】

図 5 B に、いくつかの実施例による、ウェブマスタに関連付け結果を提示するためのグラフの別の例 5 5 0 を示す。

少なくとも 1 つの実施態様において、グラフ 5 5 0 は、ウェブマスタが特定のマーケティングキャンペーンの有効性を判定することを可能にし得る。

例えば、グラフ 5 5 0 には、キーワード検索におけるランク付け 5 6 5 が経時的に変化したこと、および、キーワード検索からもたらされる閲覧数 5 5 5、および、変換数 5 6 0 が、ウェブページのランク付けの変化と共にどのように変化したかを示すことができる。

【 0 0 8 1 】

図 6 A、および、図 6 B に、いくつかの実施例による、ユーザに関連付け結果を提示するための表示 6 0 0、および、表示 6 6 0 の例を示す。

図 6 A には、検索結果からもたらされる変換を示す円グラフ 6 0 5 を含む表示 6 0 0 が示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、円グラフ 6 0 5 は、特定の外部参照、または、外部参照のグループからもたらされる閲覧数、または、変換数の割合を示すのに使用することができる。

例えば、図 6 A には、検索エンジン結果が理由で発生した変換を示す円グラフ 6 0 5 が示されている。

円グラフは、変換を 2 つのカテゴリへと分割している。

第 1 のカテゴリは、ブランドキーワード 6 1 0 からもたらされる変換である。

少なくとも 1 つの実施態様において、ブランドキーワード 6 1 0 は、ウェブページに特有のキーワードを含むことができる。

例えば、ブランドキーワード 6 1 0 は、企業名、特定の製品の名前、または、商標名を含むことができる。

図 6 A の第 2 のカテゴリは、非ブランドキーワード 6 1 5 からもたらされる変換である。

少なくとも 1 つの実施態様において、非ブランドキーワード 6 1 5 は、ウェブページの一般領域に関連するキーワードを含む。

例えば、非ブランドキーワード 6 1 5 は、販売される製品の種類、または、業務の種類に関連するキーワードを含むことができる。

【 0 0 8 2 】

また、図 6 A には、表示 6 0 0 が、ブランド 6 1 0 キーワード検索と非ブランド 6 1 5 キーワード検索とで区分されたウェブページの閲覧者に関する数値情報を与える表 6 2 0 を含むことができることも示されている。

特に、表 6 2 0 には、ブランド 6 1 0 キーワード検索と非ブランド 6 1 5 キーワード検索の両方の結果としての閲覧者数 6 2 5 に関する情報が示されている。

加えて、表 6 2 0 には、変換数が、整数値 6 3 0 としても、閲覧者数 6 2 5 の割合 6 3 5 としても示されている。

さらに、表 6 2 0 には、直帰率 6 4 0、および、サイト上での平均時間 6 4 5 も示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、直帰率 6 4 0 は、ウェブサイト内の他のどのページも閲覧せずに去ったウェブページの閲覧者数 6 2 5 を含む。

また、図 6 A には、表 6 2 0 が変換傾向 6 5 0 を含むことも示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、変換傾向 6 5 0 は、特定の時間内にもたらされる変換数 6 3 0 を含むことができる。

加えて、または、代替として、変換傾向 6 5 0 は、特定の時間範囲内の閲覧者の変換割合 6 3 5 を含むこともできる。

【 0 0 8 3 】

図 6 B に、検索結果からもたらされる変換を示す円グラフ 6 6 5 を含む表示 6 6 0 を示す。

図 6 A に対して、図 6 B には、カテゴリが使用された検索エンジンの関数としての検索結果を含むように変更されていることを除いて同じ解析データが示されている。

例えば、図 6 B には、閲覧者が検索したのがグーグル 6 7 0 上か、ヤフー 6 7 5 上か、それとも、ピング 6 8 0 上かに基づく解析が示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、円グラフ 6 6 5 は、特定の外部参照、または、外部参照のグループからもたらされる閲覧数、または、変換数の割合を示すのに使用することができる。

例えば、図 6 B には、検索エンジン結果が理由で発生した変換を示す円グラフ 6 6 5 が示されている。

円グラフは変換を 3 つのカテゴリへと分割している。

第 1 のカテゴリは、グーグル 6 7 0 を使用した検索からもたらされる変換である。

図 6 B の第 2 のカテゴリは、ヤフー 6 7 5 を使用した検索からもたらされる変換である。

図 6 B の第 3 のカテゴリは、ピング 6 8 0 を使用した検索からもたらされる変換である。

【 0 0 8 4 】

また、図 6 B には、表示 6 6 0 が、グーグル 6 7 0 での検索、ヤフー 6 7 5 での検索、および、ピング 6 8 0 での検索で区分されたウェブページの閲覧者に関する数値情報を与える表 6 8 5 を含むことも示されている。

特に、表 6 8 5 には、グーグル 6 7 0 での検索、ヤフー 6 7 5 での検索、および、ピング 6 8 0 での検索の結果としての閲覧者数 6 2 5 に関する情報が示されている。

加えて、表 6 8 5 には、変換数が、整数値 6 3 0 と閲覧者数 6 2 5 の割合 6 3 5 の両方として示されている。

さらに、表 6 8 5 には、直帰率 6 4 0、および、サイト上の平均時間 6 4 5 が示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、直帰率 6 4 0 は、ウェブサイト内の他のどのページも閲覧せずに去ったウェブページの閲覧者数 6 2 5 を含む。

また、図 6 B には、表 6 8 5 が変換傾向 6 5 0 を含むことも示されている。

少なくとも 1 つの実施態様において、変換傾向 6 5 0 は、特定の時間内にもたらされる変換数 6 3 0 を含むことができる。

加えて、または、代替として、変換傾向 6 5 0 は、特定の時間範囲内の閲覧者の変換割合 6 3 5 を含むこともできる。

【 0 0 8 5 】

当業者は、表示 6 0 0、および、表示 6 6 0 が、前述の方法によって得られるものであれ、他の何らかのやり方で得られるものであれ、任意の関連するウェブ解析を含むことができることを理解するであろう。

10

20

30

40

50

当業者は、さらに、表示 6 0 0、および、表示 6 6 0 を無制限に異なるカテゴリに分割することもできること、ならびに、外部参照のカテゴリ、および、解析が限定的ではなく例示にすぎないことも理解するであろう。

【 0 0 8 6 】

本発明は、その趣旨、または、本質的特性を逸脱することなく、他の特定の形で実施されてもよい。

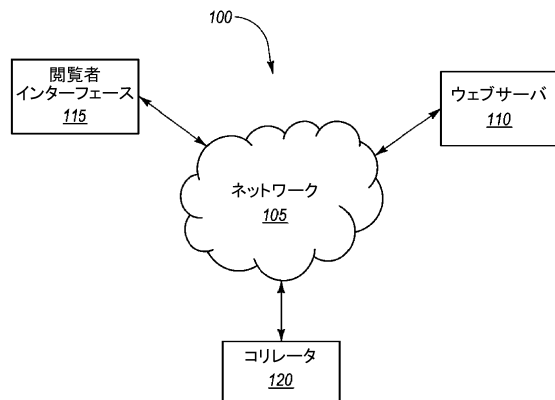
前述の実施例は、あらゆる点において、限定ではなく例示とみなされるべきである。

本発明の範囲は、したがって、以上の説明によってではなく、添付の特許請求の範囲によって指示されるものである。

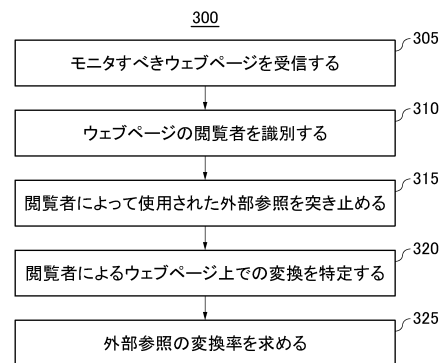
特許請求の範囲と等価の意味、および、範囲内に含まれるあらゆる変更は、特許請求の範囲内に包含されるべきものである。

10

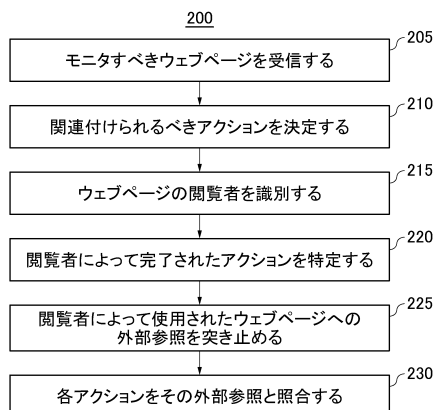
【 図 1 】



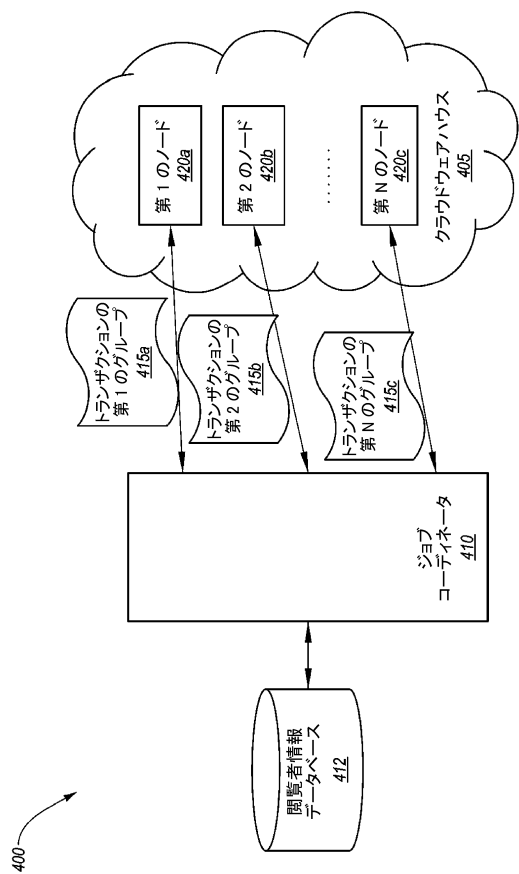
【 図 3 】



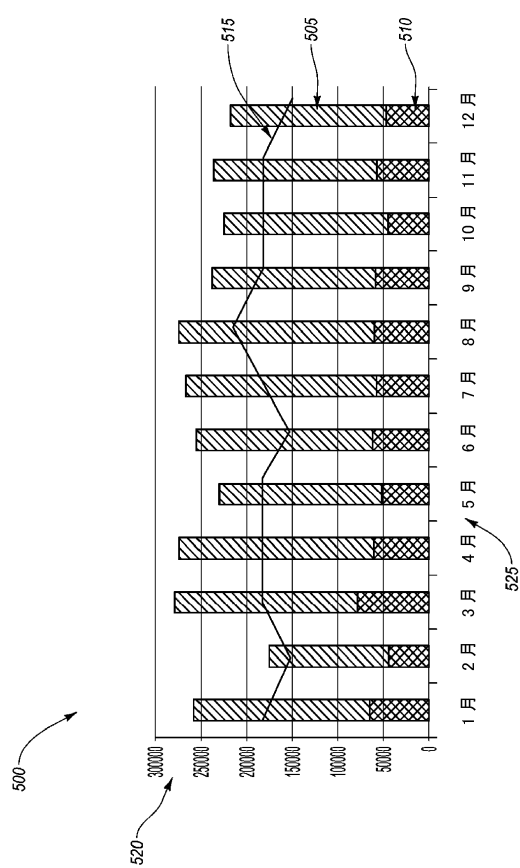
【 図 2 】



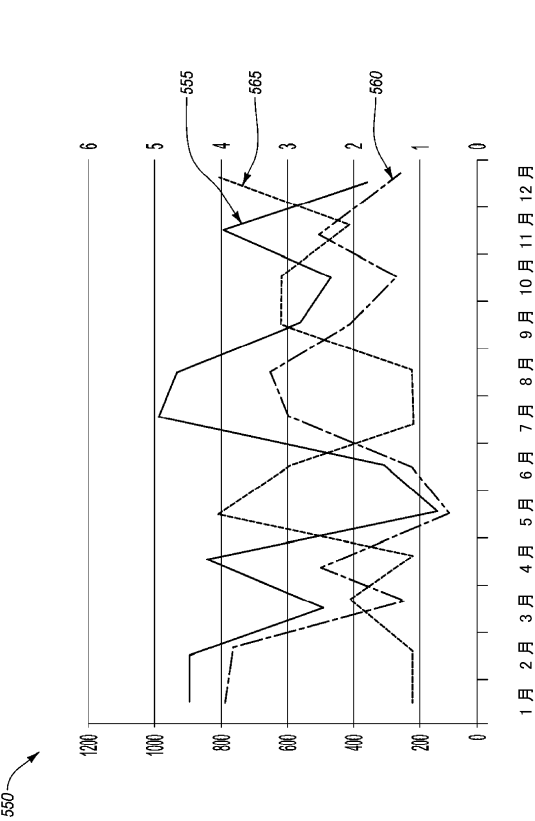
【図 4】



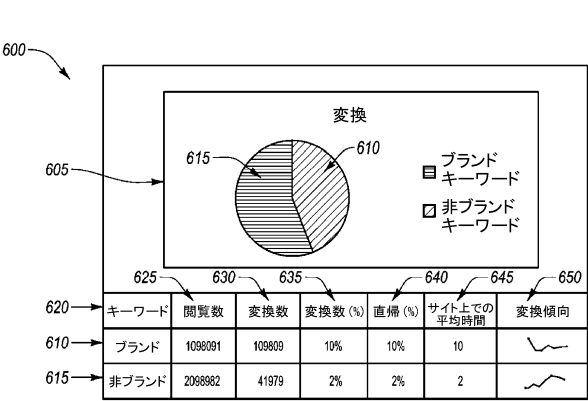
【図 5 A】



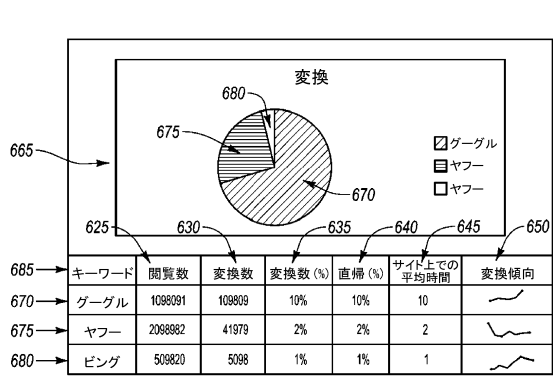
【図 5 B】



【図 6 A】



【図 6 B】



フロントページの続き

(74)代理人 100169960

弁理士 清水 貴光

(72)発明者 ユー、ジミー

アメリカ合衆国、9 4 4 0 4 カリフォルニア州、フォスター シティ、アドミラルティ レーン
4 2 0 2

(72)発明者 パーク、レミユエル、エス.

アメリカ合衆国、9 0 7 0 3 カリフォルニア州、セリトス、ヘッダ ストリート 1 2 9 1 4

(72)発明者 イップ、ローランド

香港、エヌティ、マオンシャン、フォクオンガーデンズ、7 / F ブロック 1

審査官 木村 雅也

(56)参考文献 特開 2 0 0 7 - 0 4 7 8 8 1 (J P , A)

特開 2 0 0 5 - 1 7 4 1 3 7 (J P , A)

米国特許出願公開第 2 0 1 2 / 0 0 8 4 1 4 6 (U S , A 1)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

G 0 6 F 1 3 / 0 0

G 0 6 F 1 2 / 0 0

(54)【発明の名称】 入口ウェブページへの外部参照と変換とを関連付けてオーガニックマーケティングキャンペーンの効果に関する情報を提供する方法、オーガニックマーケティングキャンペーンの価値を推定する方法